



結進仕  
団躍奉

# 鹿児島けんちく

発行所  
一般社団法人 鹿児島県建築協会  
〒892-0853 鹿児島市城山町2-13  
電話 099-224-5220 FAX 099-227-5479  
http://www.kagoken.net/  
E-mail:info@kagoken.net



旧鹿児島紡績所技師館(異人館)  
現存する日本で最も初期の本格的洋風建築で、日本最初の洋式紡績工場である鹿児島紡績所で技術指導にあたった英国人技師の宿舍として建築されました。平成27年7月世界文化遺産登録。  
所在地:鹿児島市吉野町磯9685-15

明けましておめでとう  
ございます。  
皆様方には、ますます  
ご健勝で新年を迎えら  
れたこととお慶び申し上  
げます。  
平素から当協会の諸  
活動に対し、温かいご理  
解・ご高配を賜り厚く御  
礼申し上げます。  
さて、昨今の建築関連  
業界の状況を申します  
と一部には明るい状況も  
ありますが、本県に於い  
ては、まだまだ依然とし  
て厳しい面もございま



謹賀新年  
品確法「運用指針」に期待  
一般社団法人鹿児島県建築協会 会長 前田 正人

日本経済は緩やかな  
回復基調が続いていると  
は言うものの、本県の業  
界全体が景気の良さを  
実感出来ていないのも現  
実であります。  
一刻も早く現実のもの  
として、業界全体が感じ  
られるようになって欲し  
いと念じております。  
その様な状況の中、次  
世代の担い手の中長期的  
な育成・確保のため所謂  
「担い手三法」が改正さ  
れました。  
その中で「品確法」改  
正では「運用指針」が策  
定され「発注者の責務」  
がより明確になっていま  
す。指針の適切な運用に  
より、建設業界全体が確  
実に良い流れになるよう

業界としましても運用の  
状況を見守って行きたい  
と考えております。  
また、我々建築業界の  
強い要望でありました、  
一般管理費等の引き上げ  
について国が検討するた  
めの調査を開始しまし  
た。土木等は既に引き上  
げられておりますので建築  
工事についてもぜひ引き  
上げられるよう期待して  
おります。  
一般管理費等経費の引  
き上げにより「適正な利  
潤」が確保され、担い手の  
育成・確保も促進される  
と考えております。  
そのためには、引き上  
げ実現と、中長期に亘る  
安定的な工事量の確保  
に尽きると思います。  
週休2日制の完全実施

平成二十八年の新春  
を迎え、謹んで新年のお  
慶びを申し上げます。  
一般社団法人鹿児島県  
建築協会におかれまして



## 安全・快適で質の高い 建築物の創造に向けて

鹿児島県知事 伊藤 祐二郎

は、安全かつ適正な施工  
を通じて、本県における  
建築物の質の向上と建設  
業の健全な発展のために  
御尽力いただいております。  
すことに対し、深く敬意  
を表します。  
また、「社会に奉仕す  
る力強い地場産業」を目  
指し、ボランティアなど  
の社会貢献活動等にも積  
極的に取り組まれていま  
すことに、心から感謝を

申し上げます。  
現在、我が国経済は、  
企業収益が改善している  
ものの、輸出や生産はこ  
のところ弱含んでおり、  
先行きについては、中国  
をはじめとするアジア  
新興国等の経済の先行  
き、アメリカの金融政策  
正常化に向けた動きの影  
響などにより、景気が下  
振れするリスクが懸念  
されています。

県内経済については、  
雇用情勢は高水準の状  
況が続いているものの、  
個人消費や生産の一部に  
弱い動きがみられます。  
このような中、県とし  
ましては、時代の状況変  
化に的確に対応しなが  
ら、「かごしま将来ビジョ  
ン」や「マニフェスト」に基  
き、「子どもからお年寄  
りまですべての県民に  
とって優しく温もりのあ  
る社会」の形成を目指  
し、引き続き、「力みなぎ  
るかごしま」、「日本一  
のくらし先進県」の実現に  
向け、全力を挙げて取  
り組んでいくところで  
す。  
なかでも、本県の経済  
や地域雇用を支える上  
で大きな役割を担ってい  
る建築関連産業は、裾野  
が広く、その振興は重要  
であることから、県では、  
県有施設を良質なストッ  
クとして長期間活用で  
きるよう、必要な整備を  
着実に進めていくことと

り組み、安心・快適な生活  
基盤づくりを引き続き推  
進してまいります。  
今年、薩長同盟一五〇  
周年となります。日本の  
行く末を案じて奔走した  
先人たちにより実現した  
この同盟は、明治維新の  
契機となり、我が国の発  
展へとつながっていきま  
した。  
この先、さまざまな困  
難も予想されますが、私  
たちも現状を正面から  
受け止めつつ、今こそ、よ  
り明るい未来図を描い  
て、力強く前へ進んでい  
きましょう。  
本年も市政の推進に、  
より一層のお力添えを賜  
りますようお願いいたし  
ますとともに、新しい年  
が夢と希望の持てるすば  
らしい年となりますよう  
心からお祈り申し上げます。  
新年の挨拶といたします。  
してまいります。  
また、本県の良好な景  
観は、県民共通の資産で  
あり、県民が将来にわ  
たつてその恩恵を享受す  
ることができるよう、地  
域の特性を生かしなが  
ら、個性あるまちづくり  
を進めているところで  
す。  
良好な景観形成や個  
性あるまちづくりに当  
たつては、皆様の果たす  
役割は極めて大きいもの  
と考えており、会員の皆  
様には、今後とも、更なる  
技術力の研さんや一層の  
経営健全化に努められ、  
建築業界全体をけん引  
していただき、安全・快適  
で質の高い建築物の創造  
に、引き続き尽力されま  
すよう期待しておりま  
す。  
年頭に当たり、一般社  
団法人鹿児島県建築協  
会の今後更なる御発展  
と、会員の皆様の御健勝・  
御活躍を心から祈念いた  
します。

や賃金、給与の引き上  
げ、若年労働者が入職し  
やすい労働環境の整備な  
ど、まだまだ改善しなけ  
ればならない課題は山  
積していますが、これら  
を改善するためにも「適  
正な利潤が確保される  
ことと、中長期に亘る安  
定的な事業量の確保が  
明確に示されることが必  
須の条件であります。  
発注部局には「運用指  
針」に基づき適切、且つ、  
効率的な事務処理がな  
されるよう望んでおりま  
す。これは業界の将来を  
左右する重要な問題で  
もありませんので、我々業  
界としましても大きな期  
待を寄せております。  
最後に今年一年が皆様  
にとりましてより良き年  
となるよう祈念し、ま  
た、皆様に信頼され地域  
に貢献する建築協会と  
して会員一同頑張つて参  
ります。  
関係ご当局の一層のご  
理解とご指導をお願い  
し、併せて皆様方の益々  
のご健勝ご多幸をご祈念  
申し上げます。

昨年、「明治日本の産  
業革命遺産」が世界文化  
遺産に登録されるとい  
う、大変嬉しい出来事が  
ありました。今後世界基  
準の地域資源として、そ  
の価値を国内外に発信し  
ながら、本市の発展に生  
かしてまいりたいと考え  
ております。  
さて、平成二十年を境  
に人口減少局面に入った  
とされる我が国では、今  
後の経済規模の縮小や地  
方都市の衰退等が危惧さ  
れており、現在、国と地方  
が一体となって地方創生  
の取組を進めておりま  
す。  
本市においても、昨年  
十二月に、「鹿児島市ま  
ちひと・しごと創生総合  
戦略」を策定したところ  
であり、今後この戦略を  
実効あるものとするため  
に、各施策を着実に推進  
してまいりたいと考えて  
おります。  
人口減少問題の克服に  
向けては、出生率の向上  
を図るとともに、若い世  
代が安心して結婚・出産・  
子育てができる環境整備  
が重要となることから、

西部親子つどいの広場の  
整備や子育て世帯向けの  
市営住宅の整備などに取  
り組むとともに、超高齢  
社会・人口減少社会に適  
応していくため、都市のコ  
ンパクト化に向けた立地  
適正化計画の策定等によ  
り、持続可能なまちづく  
りを進めてまいります。  
建築分野においては、  
公共建築物の長寿命化や  
維持コストの縮減・平準  
化に向けた施策を推進す  
るとともに、災害の未然  
防止や市民の生命・財産  
の保護を図るため、老朽  
空き家等対策や大規模建  
築物の耐震化の促進に取  
り組んでまいります。

また、本県の良好な景  
観は、県民共通の資産で  
あり、県民が将来にわ  
たつてその恩恵を享受す  
ることができるよう、地  
域の特性を生かしなが  
ら、個性あるまちづく  
りを進めているところで  
す。  
良好な景観形成や個  
性あるまちづくりに当  
たつては、皆様の果たす  
役割は極めて大きいもの  
と考えており、会員の皆  
様には、今後とも、更なる  
技術力の研さんや一層の  
経営健全化に努められ、  
建築業界全体をけん引  
していただき、安全・快適  
で質の高い建築物の創造  
に、引き続き尽力されま  
すよう期待しておりま  
す。  
年頭に当たり、一般社  
団法人鹿児島県建築協  
会の今後更なる御発展  
と、会員の皆様の御健勝・  
御活躍を心から祈念いた  
します。

「豊かさ」実感都市・かごしま」の実現  
鹿児島市長 森 博幸

平成二十八年の新春を  
迎え、皆様にご挨拶を  
申し上げます。  
皆様方におかれまして  
は、日頃から建設業の技  
術の向上と業界の健全な  
発展のため、たゆまぬご  
努力を重ねておられます  
ことに敬意を表しますと  
ともに、災害時の対応な  
ど地域貢献にも積極的  
に取り組まれております  
ことに深く感謝申し上げ  
ております。  
昨年、「明治日本の産  
業革命遺産」が世界文化  
遺産に登録されるとい  
う、大変嬉しい出来事  
がありました。今後世界基  
準の地域資源として、そ  
の価値を国内外に発信し  
ながら、本市の発展に生  
かしてまいりたいと考え  
ております。  
さて、平成二十年を境  
に人口減少局面に入った  
とされる我が国では、今  
後の経済規模の縮小や地  
方都市の衰退等が危惧さ  
れており、現在、国と地方  
が一体となって地方創生  
の取組を進めておりま  
す。  
本市においても、昨年  
十二月に、「鹿児島市ま  
ちひと・しごと創生総合  
戦略」を策定したところ  
であり、今後この戦略を  
実効あるものとするため  
に、各施策を着実に推進  
してまいりたいと考えて  
おります。  
人口減少問題の克服に  
向けては、出生率の向上  
を図るとともに、若い世  
代が安心して結婚・出産・  
子育てができる環境整備  
が重要となることから、

西部親子つどいの広場の  
整備や子育て世帯向けの  
市営住宅の整備などに取  
り組むとともに、超高齢  
社会・人口減少社会に適  
応していくため、都市のコ  
ンパクト化に向けた立地  
適正化計画の策定等によ  
り、持続可能なまちづく  
りを進めてまいります。  
建築分野においては、  
公共建築物の長寿命化や  
維持コストの縮減・平準  
化に向けた施策を推進す  
るとともに、災害の未然  
防止や市民の生命・財産  
の保護を図るため、老朽  
空き家等対策や大規模建  
築物の耐震化の促進に取  
り組んでまいります。

また、本県の良好な景  
観は、県民共通の資産で  
あり、県民が将来にわ  
たつてその恩恵を享受す  
ることができるよう、地  
域の特性を生かしなが  
ら、個性あるまちづく  
りを進めているところで  
す。  
良好な景観形成や個  
性あるまちづくりに当  
たつては、皆様の果たす  
役割は極めて大きいもの  
と考えており、会員の皆  
様には、今後とも、更なる  
技術力の研さんや一層の  
経営健全化に努められ、  
建築業界全体をけん引  
していただき、安全・快適  
で質の高い建築物の創造  
に、引き続き尽力されま  
すよう期待しておりま  
す。  
年頭に当たり、一般社  
団法人鹿児島県建築協  
会の今後更なる御発展  
と、会員の皆様の御健勝・  
御活躍を心から祈念いた  
します。

り組み、安心・快適な生活  
基盤づくりを引き続き推  
進してまいります。  
今年、薩長同盟一五〇  
周年となります。日本の  
行く末を案じて奔走した  
先人たちにより実現した  
この同盟は、明治維新の  
契機となり、我が国の発  
展へとつながっていきま  
した。  
この先、さまざまな困  
難も予想されますが、私  
たちも現状を正面から  
受け止めつつ、今こそ、よ  
り明るい未来図を描い  
て、力強く前へ進んでい  
きましょう。  
本年も市政の推進に、  
より一層のお力添えを賜  
りますようお願いいたし  
ますとともに、新しい年  
が夢と希望の持てるすば  
らしい年となりますよう  
心からお祈り申し上げます。  
新年の挨拶といたします。  
してまいります。  
また、本県の良好な景  
観は、県民共通の資産で  
あり、県民が将来にわ  
たつてその恩恵を享受す  
ることができるよう、地  
域の特性を生かしなが  
ら、個性あるまちづく  
りを進めているところで  
す。  
良好な景観形成や個  
性あるまちづくりに当  
たつては、皆様の果たす  
役割は極めて大きいもの  
と考えており、会員の皆  
様には、今後とも、更なる  
技術力の研さんや一層の  
経営健全化に努められ、  
建築業界全体をけん引  
していただき、安全・快適  
で質の高い建築物の創造  
に、引き続き尽力されま  
すよう期待しておりま  
す。  
年頭に当たり、一般社  
団法人鹿児島県建築協  
会の今後更なる御発展  
と、会員の皆様の御健勝・  
御活躍を心から祈念いた  
します。

り組み、安心・快適な生活  
基盤づくりを引き続き推  
進してまいります。  
今年、薩長同盟一五〇  
周年となります。日本の  
行く末を案じて奔走した  
先人たちにより実現した  
この同盟は、明治維新の  
契機となり、我が国の発  
展へとつながっていきま  
した。  
この先、さまざまな困  
難も予想されますが、私  
たちも現状を正面から  
受け止めつつ、今こそ、よ  
り明るい未来図を描い  
て、力強く前へ進んでい  
きましょう。  
本年も市政の推進に、  
より一層のお力添えを賜  
りますようお願いいたし  
ますとともに、新しい年  
が夢と希望の持てるすば  
らしい年となりますよう  
心からお祈り申し上げます。  
新年の挨拶といたします。  
してまいります。  
また、本県の良好な景  
観は、県民共通の資産で  
あり、県民が将来にわ  
たつてその恩恵を享受す  
ることができるよう、地  
域の特性を生かしなが  
ら、個性あるまちづく  
りを進めているところで  
す。  
良好な景観形成や個  
性あるまちづくりに当  
たつては、皆様の果たす  
役割は極めて大きいもの  
と考えており、会員の皆  
様には、今後とも、更なる  
技術力の研さんや一層の  
経営健全化に努められ、  
建築業界全体をけん引  
していただき、安全・快適  
で質の高い建築物の創造  
に、引き続き尽力されま  
すよう期待しておりま  
す。  
年頭に当たり、一般社  
団法人鹿児島県建築協  
会の今後更なる御発展  
と、会員の皆様の御健勝・  
御活躍を心から祈念いた  
します。

# 新年にあたって

鹿見島土木部長 久保田 一



明けましておめでとう  
ございます。  
皆様には、健やかな新年  
をお迎えのこととお慶び  
申し上げます。

また、一般社団法人鹿見  
島建築協会におかれま  
しては、かねてより、建設  
工事の適正な施工や、労働  
安全の向上に取り組み、  
本県における建築物の質  
の向上と、地域の建築業の  
健全な発展に大きく御貢  
献いただいておりますこ

とに深く敬意を表します。  
併せて、ボランティア活動  
や、各種研修会の開催によ  
る建築技術者の技術の向  
上等に御尽力いただいで  
おりますことに、心から感  
謝申し上げます。  
建築関連産業は、裾野  
が広く、本県の経済や地域  
雇用を支えるなど、大き  
な役割を担っており、その  
振興や担い手の確保は重  
要であります。

このため、建設業界をと  
りまく環境が依然として  
厳しい状況にある中、県で  
は、必要な公共事業予算  
を安定的・持続的に確保  
し、各種事業の着実な推  
進に努めるとともに、工事  
発注に当たり、可能な限  
りの分離・分割や、地元下

今後とも、地域の発展の  
ため、本県の土木・建築行  
政の推進に一層の御協力  
をお願いいたしますとと  
もに、新しい年が、皆様方  
にとりまして、希望に満ち  
た、大いなる発展の年にな  
りますことを心より祈念  
いたしまして、新年の御挨拶  
といたします。

# 新年のごあいさつ

鹿見島労働局長 岩崎 修



明けましておめでとう  
ございます。  
新年を迎え、一般社団法  
人鹿見島建築協会並び  
に会員の皆様のご繁栄を  
心よりお祝い申し上げま  
す。

また、皆様には、日ごろ  
から労働行政に多大なる  
ご理解とご協力をいただ  
いておりますことに、厚く  
御礼申し上げます。

さて、鹿見島の雇用情  
勢は、県内景気が緩やかに  
回復しつつある中で、前年  
度から有効求人倍率も改  
善するなど、緩やかな回復  
傾向が続いているところ  
です。

鹿見島労働局として  
は、このような状況下に  
あつて、総合労働行政機関  
としての役割を果たすべ  
く、本年も「労働者が安心  
して健康に働ける環境の  
確保」、「雇用の安定」、「法  
定労働条件の履行確保」、  
「男女の均等な機会及び  
待遇の確保」等の実現を目  
的として、求職者支援制  
度の推進、新卒の未内定者  
に対する支援、女性の活躍  
のための取組促進や仕事  
と家庭の両立支援などを  
含め各種施策を展開して  
まいります。

# 新春を迎えて

鹿見島土木部建築技監 浦口 恭直



新年、おめでとうござい  
ます。  
皆様には、心新たに健や  
かな新年をお迎えのこと  
お喜び申し上げます。

また、平素より、建築産  
業の健全な発展に御尽力  
いただいておりますことに敬  
意を表します。  
さて、県有施設の整備に  
ついては、昨年は、鹿見島西  
警察署改築や鹿見島工業  
高校改築3期、原良団地4  
期等の建設に着手したこ  
ろであり、今年も、新たに奄  
美ドクターヘリ格納庫や松  
陽台第二団地3期等の工

生活の安定の確保、向上に  
関する基本方針を定めた  
県住生活基本計画に基づ  
き施策を展開していること  
ろですが、現行の計画を策  
定した平成二十三年以降、  
人口減少及び少子高齢化  
の更なる進行や、適切に管  
理されていない空き家の増  
加など、住宅を取り巻く社  
会経済情勢が変化している  
ことから、このほど、平成二  
十八年度からの十年間を  
期間とするあらたな計画  
の策定作業に着手したこ  
ろです。

住宅行政については、住  
宅の確保や育成など様々  
な課題もありますが、皆様  
方には、更なる技術の研鑽  
や技能の継承、経営の健全  
化に努められ引き続き業  
界の発展に御尽力いただき  
ますようお願いいたします。  
年頭にあたり、鹿見島県  
建築協会の益々の御発展  
と、皆様方の御健勝・御活  
躍を心から祈念申し上げ  
まして新年の挨拶といたし  
ます。

# 新年のごあいさつ

鹿見島市建設局長 森重 彰彦



平成二十八年の新春を  
迎え、会員の皆様へ謹んでお  
慶びを申し上げます。

また、民間建築物では、子  
育て・高齢者世帯の安心な  
住まいづくりの促進と、安  
全で良質な住宅ストックの  
形成を図ることを目的に、  
戸建て住宅の耐震診断・耐

いた一年でございました。  
近年、建築分野において  
は、地球環境問題や、人口  
減少・少子高齢化への対応  
の観点から、環境負荷や財  
政負担の軽減に配慮しなが  
ら、「スクラップアンドビル  
ド」を離れ、既存ストックを  
最大限に活用することが求  
められており、本市では、長  
寿命化や維持管理コストの  
縮減・平準化を目的に、ス  
トックマネジメント事業に  
取り組むなど、持続可能な  
まちづくりを推進している  
ところでございます。  
また、民間建築物では、子  
育て・高齢者世帯の安心な  
住まいづくりの促進と、安  
全で良質な住宅ストックの  
形成を図ることを目的に、  
戸建て住宅の耐震診断・耐  
震補強工事やリフォームへ  
の補助制度を創設すると共  
に、不特定多数の方が利用  
する大規模建築物につい  
て、耐震診断補助に加え、新  
たに補強設計への補助制度  
を創設するなど、震災に強  
いまちづくりの促進にも取  
り組んでおります。  
建設業界では、若手技術  
者の育成・確保など課題が  
ございますが、本市としま  
しても、貴協会との意見交  
換や、各種イベント等での  
連携を通じまして、建築の  
魅力アップを図り、共に安  
心快適なまちづくりの推進  
に取り組んでまいりたいと  
存じます。  
皆様には本年も、本市の  
建設行政の推進に一層のご  
支援とご協力を賜りますよ  
うお願い申し上げますと  
もに、新しい年が、皆様にと  
りまして活力と希望に満ち  
た一年となりますことをお  
祈り申し上げます。新年のご挨拶  
といたします。

# 支部だより

## 建築は文化

鹿見島支部副支部長 梅井 銀二郎



昨年へリテージマネー  
ジャーの養成講習を受講  
しました。初めは何の事か  
良く判らずに、初回講座。  
鰻坂先生の概念と必要性  
のお話、衝撃と共に強い興  
味を持ちました。十五回、  
約半年に亘る講義と講習、  
出会えるか不安を抱え  
る中でスタート「あつ」  
と、いう間？に終了しま  
した。今では、参加して「良  
かった」感で一杯です。

阪神淡路大震災で、歴  
史的建造物が被災し、復  
興される事無く、失われて  
いった。今では、参加して「良  
かった」感で一杯です。

その時、良い建築に出会  
うとワクワクして、ホッと  
する感があります。凄  
いな、って感じる事もあり  
ますけど、どちらかと言  
うと、落ち着く？そんな感  
じを持たれるのは私だけ  
でしょうか？そこに、文化  
を感じられる方は多いと  
思います。私も、その一人  
です。

鹿見島にも、古き良き  
建造物が多く存在してい  
ます。知覧の武家屋敷群、  
入来・出水の麓集落、今回  
文化遺産に指定された建  
造物等々鶴丸城の御楼門  
の復元、待ち望んでいる  
方々多いと思います。  
ちよつと歩いてみると、  
小洒落た建物  
ひっそりと建っている建物  
皆さんも「ワクワク」して  
みませんか。

今年、新たなことに  
チャレンジする一方、時々  
振り返り、身近なことを  
じっくりと見つめ直す一年  
にしたいと思ひます。

## 温泉と食の文化

南薩支部支部長 濱田 信行



明けましておめでとう  
ございます。  
昨年、国民文化祭が  
あり、鹿見島全体が盛り  
上がりを見せましたが、  
指宿においても、「温泉と  
食」をテーマとしたシンポ  
ジウム等が行われました。  
普段考えたことはありま  
せんでしたが、確かに指宿

は、家庭で温泉を楽しむこ  
とができ、食材が豊富で、  
「温泉文化」と「食文化」と  
いう言葉がぴったりだと  
思います。  
ただ、自分が住んでいる  
街のよさは、異なることに  
住む人から聞いたり、自  
分が旅行をしたりして、比  
較があつて初めて知るこ  
とが多いものです。  
普段の生活にあること  
には、当たり前のごとし  
て捉えてしまい、ついつい  
新たなものばかりに気を  
とられがちです。今回の国  
文祭を通じ、改めて自分の  
生活している鹿見島県、そ



# リサイクルdeピザ窯

北薩支部監事 本田 和幸



新年あけましておめでとうございます。

昨年、外構の改修現場で、撤去した古煉瓦があり、リサイクルの一環として、ピザ窯でも造ってみよう、軽い気持ちでネットやアウトドア系の雑誌を頼りに設計図を描き制作をはじめました。

自宅の庭にブロックで基礎を造り、耐火モルタルで床版を制作してから煉瓦を積みはじめました。途中、近所の人から「新しい焼却炉作りですか」と問

く円盤状に成形、薄く伸ばしていきませんが、これが曲者です。縮んだり破れたり、でも何とか形が出来、焼き上げていきました。最初の数枚は、窯の温度が下り、なかなか焼けずに失敗。さらに薪をくべ温度を上げ再度挑戦、今度はかなり焼きあがりましたが、残り生地の水分が飛び表面が固くなり残念な結果に...

その後、何回かチャレンジし、火加減、生地作り、トッピング等に四苦八苦しながらも、なんとか焼いております。

リサイクル材の再利用を検討するつもりが今では、すっかり、ピザ作り研究の方がメインになってしまいました。

ここからは、ピザ焼き初体験です。小麦粉・塩・酵母・オリブオイル・水を計量し練り上げます。結構重労働です。一時間発酵させ小分けして更に発酵丸

# 新年を迎えて

曾於支部会員 大迫 博昭



二〇一六年の幕開けを心より喜び申し上げます。

私は一月五日生まれの申年で四十八歳を迎え、昨年の春に曾於支部会員の推薦を賜り入会させて頂きました。

昨年を振り返りますと二〇一〇年東京オリピックのエンブレムや競技場建設の見直しやマシニング工事等の基礎杭

問題で建築業界が目玉された年でありました。設計と施工の金額格差や元請・下請の関係を再認識する良い機会を頂きましたし、お客様ばかりではなく世間全体への配慮も怠ってはいけません。配慮も怠ってはいけません。配慮も怠ってはいけません。配慮も怠ってはいけません。

建設業は目に見える社会資本整備のほとんどを作り出しており、様々な構築物を改善修復しながら世に貢献できているという自信をもっておきたいと思っております。

また、社会の諸情勢により受注変動が特に激しい業界であろうと感じています。また、技能者の

高齡化と若年者の労働力不足はより一層厳しい状況が予想され業界全体で危惧される問題も

# 新年のご挨拶

種子島支部支部長 日高 政浩



平成二十八年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

また皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えの事と存じます。

種子島支部長を命ぜられてから早二年が経過しようとしています。その間前田会長をはじめ、各支部長、役員の方々には色々

もって厚くお礼を申し上げます。さて私事で恐縮ですが、現在小学六年生の息子がおります。六年生の算数の授業で縮尺の単元があり、六年前より熊毛支庁と建築士会の主催で出前授業に携わっております。子供達と実際に校舎を測り、縮図を作成したりして算数の重要性を認識させています。又、子供達はトランシットやレベルの測量機器を覗くことに大変興味があり、毎年の授業を先生共々楽しみにしているようです。

後で子供達から御礼の手紙を頂くのですが、中には将来建築関係の仕事に就きたいという声が多いです。

ちなみに家の息子は先生に、将来建築士になるんでしょうか？と問われたところ即答で「なりません」と答えました。残念...

最後にになりましたが、平成二十八年度が皆様にとっても良い年になりますよう御健康と御多幸を心からお祈り申し上げます。



# 新春の霧島を歩きませんか!

始良・伊佐支部副支部長 津田和 亨



皆様、新年あけましておめでとございます。

平成二十八年が「元気で笑顔の一年でありますことを願い、新春の霧島歩きをご案内します。

今から二五〇年前の一八六六年新春、土佐の坂本龍馬は愛妻のお龍を伴って寺田屋での刀傷を癒すために、小松帯刀の勧めもあり単人浜の市港から歩いて霧島塩温泉へ、さらに高千穂峰へと日本最初の新婚旅行と言われる旅をしています。

# 鹿屋支部より

鹿屋支部支部長 梅木 一宏



老のお婆ちゃん、お爺ちゃん、の指導のもと老若男女賑やかに作っています。

今年も盛りザルいっばいの揚げたての「花山のガネ」と溢れる笑顔でお待ちしております。

新春から「元気で笑顔」のスタートで一年気張りのぞ!

# 住宅建築の愉しさを

奄美支部副支部長 政 和豊



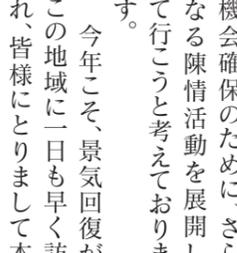
新年あけましておめでとございます。今年もよろしくお願ひします。

さて近年、色々な世代的クラアントさんより戸建住宅の新築に伴う相談が少し増えて来ました。(たぶん、建築業界全般だと思ひますが、)

今年こそ、景気回復がこの地域に一日も早く訪れ、皆様にとりまして本年が明るい一年であることをご祈念申し上げます。

# 鹿屋支部より

鹿屋支部支部長 梅木 一宏



地域住民の永年の悲願でありました東九州自動車道の串良鹿屋道路が開通し、一年が経過しました。これにより、人の移動時間が大幅に短縮され、他地域との交流が促進され、産業や観光の振興に大きく貢献していると考えます。

この事は、我々建築業界にとりましては、基地周辺住宅に対する防音工事や更新工事の発注に繋がる事が期待できます。また、これに伴う再編交付金の五年間の延長が決まり、医療・福祉などの施設に対する振興支援がなされます。

我々はこの好機を逸することなく、鹿屋基地の施設整備を実施する場合同、支部活動の一環として、地元会員企業の受注機会確保のために、さらなる陳情活動を展開して行こうと考えております。



# 住宅建築の愉しさを

奄美支部副支部長 政 和豊



最近、若い大工さんも増え細かいディテールの仕上げや多種の素材への納まり対応に幅が広がっています。(頼もしいです。)

プロの建築写真家さんに撮影を依頼する案件も少しずつ増えてきました。仕上がった写真は、想像以上に素敵に空間を切り取ってくれます。(建築雑誌に自分達の作品が掲載されるとテンションが上がります。)

大きな事は言えませんが、将来息子達にはこの建築に携わる仕事の醍醐味や素晴らしさを少しでも伝えられたらと思ひ、これからも日々奮闘していきたい今日この頃です。

# 晴れの受賞 心からお祝い申し上げます

## 国土交通大臣表彰

鶴留 政博 (株)鶴留建設

昨年七月、国土交通大臣表彰を受賞致しました。

まだ、若輩者ではありませんが、この表彰は、ひとえに諸先輩方並びに会員の皆様方のご協力ご支援の賜物と思っております。心から感謝申し上げます。

又建築協会の事務局の方々のご協力本当にありがとうございます。

これからも、建築業界を盛り上げる為、感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思っております。



## 新入会員紹介

(平成27年5月1日より入会)

よろしくお願ひします



大迫 博昭  
(株)大迫建設  
[曾於支部]

# 年男のコーナー

## 二〇一六 申年

## 感謝

(株)渡辺組 渡辺 紘起

〈昭和一九年生まれ〉

上げます。



新年明けましておめでとうございます。

早いもので年男を迎えるのも六度目、月日の流れをひしひしと感じております。父から受け継いだ会社も今年で創立六十六年となり、これまでお世話になった皆様へ心より感謝申し上げます。

真面目に誠意を持って仕事に臨んでいけばこのような事態は防げたのだからと思っております。厳しい工期の中での作業や人員不足、いくつもの原因が重なった結果なのでしょう。私自身もこの事実を他人事とは思わず重く受け止

め、「まじめにコツコツ」という社風を継続しながら堅実かつ迅速な業務を心掛けていく所存です。

次々と移り変わるニーズに対応ができる人材の育成や新技術への適応力向上に勤しみ、地域発展への貢献と「顧客満足」を超える「顧客感動」を実現するため、自己研さんに励んでまいります。

最後になりますが、本年が皆様にとつて良いものとなります様、心より祈念致します。

## 年男を迎えて

(株)久永建築 久永 徹郎

〈昭和四三年生まれ〉



新年明けましておめでとうございます。

今年(申)は、私は、四回目の年男となります。申年の人は、「合理的で現実的、状況判断に優れ、洞察力や行動力がある」といいます。私は、そのようなタイプかと言えはそうではないような気がしますが、せつかくの年

男の年です。自身と会社を成長させるために、更なる行動をしたいと考えています。

まずは「長期・中期経営計画の策定」。今までも無かったわけではないですが、より具体的に、ビジョンと理念をもう一度考え直し、経営構図やマネジメント等の項目を作成したいと思っています。

次に、作業の見直し。「社内用語の統一促進」と、「作業のムダ・ムリ・ムラの撲滅」に向け、社員と策定していきたいと考えて



ています。他にも課題はたくさんありますが、今年はお出る限りのスピードで、一つ一つを実行していくつもりです。

個人的には、実は子供がまだ二歳半(女の子)です。子供が成人式を迎える頃、私は還暦をとうに過ぎ、六五歳です。時間を取ることができる限り、家族での時間を増やし、共に成長していきたいと思っております。

幸い、これまで大きな病気やケガもなく過ごせました。ありがたいことです。健康に十分注意していきたいと思っております。最後になりますが、会員の皆様とその会社・家族の皆様のご健康と、更なる飛躍を祈念させていただきます。

## 還暦を迎えて

(株)中山建設 中山 太

〈昭和三年生まれ〉



新年明けましておめでとうございます。

「還暦?」自分にはまだ縁遠く、毎年諸先輩方が神社にてお祓いをする後方に参列させて頂き、低頭し身を清めて頂くという年間行事としか思っておりません

でした。思えば若い頃から髪に白いものが混じり始め、実年齢より老けて見られていた感がありました。白髪はどうか年相応に認めて頂ける認定証を戴いた様な感じがします。

「思えば遠くに来たもんだ」とこんな歌がありました。自分が今どのあたりを歩いているのだからと六十年という年月の重みに改め

## 年男になって

田上建設(株) 田上 俊介

〈昭和五五年生まれ〉



新年明けましておめでとうございます。

五五年生まれの私は本年三六歳の年男になります。小さい頃、三〇歳を過ぎればおじちゃん、五〇歳を過ぎればおじいちゃんだと思っていた私もおじちゃんの部類

に分けられる年代になってきました。もちろん、大人の余裕も出てきて味のある人間になってきていると思っております。ですが、まだまだ足りないことだらけの若造なので先輩方のいい部分を学習し立派な大人になりたいと思っております。さて、そんな私も先代より代表者を交代し今年で三年目を迎えます。石の上にも三年というように忍耐強く、粘

り強く、そして明るい経営者を目指しています。が、考えていることの半分も実行できていないのが実情です。無理のきくこの三〇代に色々なことに挑戦し経験を積み、自分なりの魅力ある会社へと進歩できるように頑張りたいと思っております。

年男ということ意識したことはありませんが、今回をいい機会と考え、仕事やプライベートが充実したものとなるように目標を立て行動し実り多き一年にしたいと思っております。

昭和一九年生まれ  
渡辺 紘起 (株)渡辺組



市成 幸雄 (株)市成建設

昭和三年生まれ  
中山 太 (株)中山建設



西小野 一弘 (株)三光建設

昭和四三年生まれ  
有村 幸光 (株)有村建設



有村 満裕 (株)有村工務店



久永 徹郎 (株)久永建築



有村 満裕 (株)有村工務店



田上 俊介 (株)田上建設



森 義大 (株)森建設



田上 俊介 (株)田上建設



田上 俊介 (株)田上建設

## サルに関する豆知識

約一八〇種類の猿が地球上に存在しており、日本にはニホンサル一種が存在しています。(屋久サルはニホンサルの亜種)

「類人猿」という言葉をよく知たと思いますが、具体的にオランウータン、チンパンジー、ゴリラ、ボノボ、テナガサル類がそれに該当し、他は「猿」に該当します。

日本では「猿」とひとくくりにして呼ぶ事が多いと思っておりますが、英語では猿の事を「monkey」、類人猿は「ape」と言い、使い分けられています。

猿は「類人猿」の遠いとして、猿は「類人猿」ではないという事があるが、類人猿には「類人猿」ということと、さらに、類人猿は手の方がより長く首筋に虫垂があるが猿にはない、という点があります。

ちなみに平川動物園には類人猿が二種、類人猿外が十九種飼育されているそうなので、外的特徴を再確認してみたいか、でしょうか。



# 青年部会 新年のご挨拶

一般社団法人鹿見島建築協会  
青年部会 部会長 **木落 孝作**



新年明けましておめでとうございます。青年部会会員の皆様におかれましては、平素より当部会の活動にご参加、ご協力いただきましてありがとうございます。又、本会の前田会長をはじめ役員、会員の皆様におかれましては多大なご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

す。今後も引き続きご指導ご支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。さて早いもので現理事の任期も残りわずかとなり、振り返れば青年部会ならではのフットワークを活かして様々な事業に取り組みました。その中でも会員拡大事業と学生との交流事業は活発でありました。様々な団体の課題だとは思いますが、我々、青年部会も会員減少問題に直面しており、数年前まで

は卒会者の増加に対して新規会員が少なく苦戦しておりましたが、地道な活動が実り昨年度から十五名程の新入会員の皆様を迎える事が出来ました。会の運営活性化のためにも今後も継続していく課題だと思っております。学生との交流事業においては「住まいと建築」でのブース出展とは別事業として始めて三年目になりますが「学生との座談会」で建築施工の講義と意見交換会を開

催しております。先生、学生のみならず行政、業界団体などの反響もいたいております。担当委員長にはご負担をかけておりますが(笑)本年はさらに踏み込んで学校への訪問型座談会を九月に鹿見島工学院専門学校で行いました。二月頃まで残り三校の工業系高校で行う予定です。座談会では、学生に建築業に対する素朴な疑問など質疑を通して理解してもらおうことにより、や

がては地元就職促進の一翼になればと考えております。最後になりますが、本年はいよいよ青年部会設立二十周年の年になります。現在記念式典に向けて準備を進めておりますが、今年一年が会員の皆様にとりまして素晴らしい一年になります事をご祈念申し上げます。挨拶にかえさせていただきます。

## 青年部会会員募集

青年部会では会員を募集しています。詳細については、建築協会事務局までお問い合わせ下さい。

新入会員です よろしくお願ひします!



マル川建設 川原 大地 会員研修委員会



ヤマグチ 山口 秀典 活動委員会



山理建設 山下 和紀 総務・IT委員会



南建設 南 浩二 会員研修委員会

総務・IT委員長  
**前田 忠倫**



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。建築協会青年部会、総務・IT委員長の前田組・前田と申します。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。昨年四月に開催しました定時総

会・懇親会の際は、多数ご出席頂きましてありがとうございます。総務・IT委員会では、総会の運営や懇親会・レクリエーションの開催等、青年部会の円滑な運営ができるよう活動しております。また、会報2000誌の発行や会員手帳の変更等も担当しております。そして本年、青年部会は二十周年を迎えることとなりました。これまでの活動を支えていただきまして多くの皆

様に感謝の意を表すべく、二十周年記念式典・祝賀会の準備を進めていくところでございます。また、私個人としては建築協会と青年部会と共に役員を務めさせて頂き、今まで以上に多くの方々とお会いしただ二年間でありました。これからも精進して参りたいと思っております。皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

会員研修委員長  
**伊藤 誠**



新年明けましておめでとうございます。会員研修委員長として二回目の新年を迎え、任期も残り数か月となりました。この間、青年部会の皆様には多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、会員研修委員会では、昨年九月に「経営者講習会」を開催いたしました。フクモトマネジメンストラボ(株)の福元克明様を講師にお招きし、「建築業の会計から分析する会社の力」というテーマで、貸借対照表及び損益計算書の読み方と決算書から考える経営の視点アップのポイントについて勉強いたしました。また、講習後には青年部会に未入会の方や青年部会OBの方々にも参加していただき、会員拡大と会員交流を

兼ねた意見交換会を開催いたしました。そして、経営者講習会において参加者の関心が強かった経営者の視点アップのポイントについては、今年二月に第二回目の講習会を予定しております。今年度も残り僅かとなりましたが、委員会メンバーと共に青年部会活動に邁進する所存でございますので、今後共、会員の皆様のご支援、ご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

活動委員長  
**重留 巧治**



新年あけましておめでとうございます。活動委員長を仰せつかり任期も残りわずかという時期になってまいりました。活動委員会は対外的な事業も多く、建築協会会員だけではなく、県や学校関係の方々などと事業活動や交流を行うことがあり、貴重

な出会いや体験が出来たことを本当に感謝しております。さて、二年目を迎えた活動委員会は、二年目を超えるべく事業の練り直しや周囲の要望を取り入れた事業を計画し実行してまいりました。なかでも青少年育成事業「学生との座談会」は我々青年部会が学校へ訪問し授業時間をお借りして座談会を行うという事業を今年度から展開しております。今年度は四校の学校を訪れることになっており、昨年九月に一校、今年二月に三校を訪問する予定

です。肩肘張らずユーモアを交えての座談会は生徒にも好評で、質疑応答時には最新の業界の話しや新卒採用時の企業側の考えなど様々な質問や意見も上がるようになりました。学生が少しでもこの業界に興味を持ち、県内企業へ就職してくればと考えるております。まだまだ未熟な点が多いと思っておりますが、同委員会ではさらに団結し、青年部会とこの業界を盛り上げる一翼となれるよう頑張つてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。



定時総会(総務・IT委員会) (平成27年4月17日)



定時総会懇親会(総務・IT委員会) (平成27年4月17日)



経営者講習会(会員研修委員会) (平成27年9月4日)



意見交換会(会員研修委員会) (平成27年9月4日)



学生との座談会in鹿見島工学院専門学校(活動委員会) (平成27年9月18日)



学生との座談会in鹿見島工学院専門学校(活動委員会) (平成27年9月18日)